

1. 本年度の重点目標

- ◎「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子 ～伝え合い 認め合い 高め合い～
- 自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子
 - 自らの目標を持ち、最後までやりきる子
 - 自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応）
 - 思いやりの心で自ら行動できる子

2. 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	<p>①「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子 ～伝え合い 認め合い 高め合い～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子 ○自ら目標を持ち、最後までやりきる子 ○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応） ○認め合い、思いやりの心で自ら行動できる子 	B	<p>「元気にはい」「進んではい」「最後まではい」をスローガンとして、お互いの気持ちや立場を理解すること、きまりや約束を守ることを意識しながら、楽しく学校生活を過ごす児童の姿が見られた。係や委員会活動、行事において目標に向かい役割を果たそうとするなど、意欲的に活動する子どもたちの意識の高まりが感じられた。</p> <p>しかし、自分の思いや考えを表現しようとする意志や、他者へ考えを伝える力に相対的な課題が見られるので指導の工夫・改善を図っていく必要がある。学級経営・学力向上の全体計画に示されている具体策について、改めて共通理解を深め、教職員が一丸となって課題の解決に取り組んでいく。</p>	A	A
教育課程・学習指導	<p>②教育課程を通して必要となる資質・能力の確実な育成</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学力向上、授業改善の推進 * 指導体制の工夫、学習環境の充実 	A	<p>子どもたちが教わる授業から学び取る授業への転換を図るための授業改革を柱として、学力向上の取組を進めてきた。ICT 機器の効果的な活用と対話を重視した授業実践を積み重ねることと児童の実態の分析をもとに指導の重点化を図り、計画的に算数の習熟度別指導やTTによる指導、また個別指導の充実を進めてきた。ボランティアの協力も得て、充実した学習を進めていくことができた。</p>	A	A
生徒指導	<p>③「安全」「安心」の学校づくりの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学校いじめ防止基本方針に基づく取組 * 互いを認め、高め合う人間関係づくり 	B	<p>いじめの対応では情報の共有不足から対応に不備があった。対応の不十分であったところを反省し、複数の目による児童の見守りや相談ポストの設置など心のケアに努める体制をとった。情報の共有化を図り、組織的に迅速な対応を図ることを周知設定していく。児童会では、「おもいやり集会・いじめをなくそう宣言」「あいさつ運動」など、児童が主体となって取組を進めることができた。</p> <p>課題を抱える児童や保護者には、常に寄り添う姿勢で関係を築き、教育相談を行う、関係機関へ繋ぐなど連携・協力を図ってきた。</p>	A	A

小中一貫教育	<p>④小中一貫教育の充実・発展による「目指す子ども像」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> *小中一貫教育による義務教育9年間を見据えた指導 *大麻スタンダードによる学習・生活規律等の連続性の確立 	A	<p>目指す子ども像「ともに支え合い夢や可能性に向かってたくましく生きる子ども」の実現に向け、組織的に連携しながら小中一貫教育を進めてきた。体験活動や乗り入れ授業の推進や、大麻スタンダード「学習・生活」の取組を進めた。今後も、系統的で組織的な取組を推進していく。</p>	A	A
その他	<p>⑤健康でたくましい心身づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> *基本的な生活習慣の定着 *体力向上の取組 	A	<p>運動会では、今年度も全校よさこいを取り入れ、異学年での学び合いのよさを生かしながら活動を進めることができた。縄跳びの取組では、目標・内容の視覚化など、児童が意欲的に練習に取り組むことのできる環境づくりを工夫し、長縄大会を実施した。学級としての取組により、仲間と切磋琢磨し、体を動かすことの楽しさを味わわせることができた。今後も、全校で実施した新体力テストの結果をもとに、日常から体力向上と健康の増進について、全校が同じ目標に向かって活動することができるよう工夫を図っていく。</p>	A	A
	<p>⑥地域との連携・協働の推進と情報発信の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> *保護者や地域との連携促進 *情報提供・発信の充実 	A	<p>感染症対策や通学路の安全確保、気象状況（今年度は特に夏の猛暑）に関わる対応や日常的な情報発信など、児童の安全・安心を最優先に、保護者や地域、関係機関との連絡調整を図ってきた。喫緊の課題に対し、校内組織を機動的に活用し、対応することができた。また、定例の職員会議でミニ研修を行い、教職員の今日的な課題について研修を行う等、資質向上に努めることができた。今後も、適切な情報収集とともに教育課程の進行管理や教育目標の達成のために、組織的な対応のさらなる充実を図っていく。</p>	A	A

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない